

情報通信行政・郵政行政審議会電気通信事業部会

電気通信番号委員会（第4回）議事概要

日時 平成24年10月16日（火）※書面審議により実施

参加者 電気通信番号委員会 酒井主査、相田委員、池田委員、一井委員、
河村委員、三友委員

事務局（総務省） 森下番号企画室長、清水番号企画室課長補佐

【議事要旨】

電気通信番号規則の一部を改正について

- 電気通信番号規則の一部を改正する省令案について意見募集を行った結果の報告と、寄せられた意見に対する電気通信番号委員会の考え方（案）について、資料を基に検討が行われ、案のとおり承認された。
- 平成24年10月26日に開催予定である電気通信事業部会において、酒井主査より本委員会の検討結果を報告することとなった。

【意見等】

河村委員 070開放時における携帯電話とPHSの識別は070-Cで行うとしているが、26年度中に携帯電話とPHS間の番号ポータビリティの導入を目指すのであれば、番号ポータビリティ導入を待たず070開放時から、識別音の挿入によって携帯電話とPHSを識別できることが必要ではないか。

なぜならば、070-CでのPHS識別の周知を徹底した後、番号ポータビリティが導入されると、改めて今度は070-Cでは識別できなくなったこと及び識別は音声によってなされることを周知しなければならず、消費者に混乱と不利益を与える可能性が高いからである。

事務局 PHS事業者からは、番号ポータビリティ導入を見据え、PHSの識別性を保つべく、消費者の混乱を回避するために070開放時から識別音を挿入することを検討していると聞いている。

以上